

令和6年度 江戸川区立江戸川小学校 人権教育 年間指導計画（第5学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標を踏まえて学級目標を設定する。		自分の大切さを認識することを中心とした指導			他の人の大切さを認めることを中心とした指導			互いの大切さを認め、助け合えることを中心とした指導		
	児童相互の関係を把握する。		児童理解を、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。			一人一人の個性や能力が発揮できる場や機会を設定することにより、学級の一員として認められているという安心感をもてるようにする。			1年間の学校生活を振り返らせ、自己の成長を確かめる。		
各教科・読書科	体育：「リレー」ルールを守り、協力しながら運動する経験を通して、公平・協力の態度を身に付ける。		国語：「みんなが使いやすデザイン」世の中には様々な人々が暮らしていることから、みんなが使いやすいものを考える。		社会：「米づくりのさかんな地域」米作りの苦労を知り感謝の気持ちをもち大切に食べようとする態度を育てる。			国語：「あなたは、どう考える」発表し合うことを通して表現する力伝え合う力を身に付けさせる。		国語：「子ども未来科」で何を「未来」のことを考えると同時に、子どもの人権について考え差別のない世界について話し合う「子ども」	
	理科：「生命のつながり」生命を尊重しようとする態度を身に付ける。		社会：「米づくりのさかんな地域」米作りの苦労を知り感謝の気持ちをもち大切に食べようとする態度を育てる。			社会：「これからの食料生産とわたしたち」食料生産を考えると同時に、食肉加工で働く人のことを知り、仕事にも差別や偏見があることについて考える。【同和問題】			社会：「情報を生かすわたしたち」これからの情報社会について話し合うとともに SNS など情報モラルについて考える。		国語：「大造じいさんとガン」人物の心情を考える教材を通して、自己理解と他者理解の大切さを尊重する態度を身に付けさせる。
	家庭：家庭のあり方を学習する教材を通して、責任や権利と義務を尊重する態度を身に付けさせる。		図工：「人権ポスター」人権に関するテーマをもとに、絵と言葉を考えてポスターに表現する。								
特別の教科 道徳	「特別の教科 道徳」を通して、自由・責任、親切・思いやり、友情・信頼、感謝、生命の尊さ、公正・公平、社会正義、家族愛、勤労、国際理解などを身に付けさせる。										
	「よさこいソーラン祭り」：祭りのできた経緯を知るとともに、地域の伝統や文化を受け継ぐことの大切さに気づき、その文化を発展させようとする実践意欲と態度を育てる。【同和問題】			「SNS いじめ」：いじめを受けて「わたし」の姿について話し合うことをとおして、自律的に判断することの大切さに気づき、自分で判断して行動しようとする態度を育てる。（インターネットによる人権侵害）			「青い目の人形」：青い目の人形を処分しなかった理由について話し合い、他国のの人たちと心を通わせて交流するために大切にすることを考え、すすんで接しようとする実践意欲と態度を育てる。【外国人】9月				
総合的な学習の時間	児童が発言や体験できる場、交流する活動をたくさんつくり、個性の伸長やたくさんの人と親しむ時間をつくる。										
	世界がかわる問題と現状を知ろう：地域課題問題に対して、現状や原因、解決や身近な取組などについて自分たちが考えていかなければならない問題について総合的に考えさせる。【外国人】または「高齢者」				持続可能な社会を目指して：日本における現状を知り、これからの社会を考える際に、高齢者や外国人など差別や偏見なども問題についても話し合う。【外国人】または「高齢者」						
特別活動	学活：学級や自分の目標を考える。		学活：楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任などについて考え、信頼し支え合って実践させる。			学活：話し合い活動を通して、一人一人の意見や考えを尊重し合う態度を身に付けさせる。		えどフェス（展覧会）		卒業式	
	1年生を迎える会									ウィンタースクール	
	「なかよし班」異学年交流を深め、相手の立場に立って思いやる態度を身に付ける。○なかよし班遊び ○えどスポ（運動会） ○CBC（キャッチボールクラシック） ○お別れ給食										
その他	地域訪問：家庭との連絡を密にし、児童一人一人の実態を把握する。			個人面談等：家庭との連絡を密にし、児童一人一人の実態を把握する。			ふれあい月間				
	いじめ防止週間		あいさつ運動（通年）：あいさつを通して、温かい人間関係を養う。				いじめ防止週間				

「 」＝個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔＝関連的な指導 ＝多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。